

今回3名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤 咲 芙美子 議員 7

1. 高校通学費補助について
2. がん検診の負担軽減について
3. 就学援助の拡充について

加藤木 直 議員 8

1. 廃校・廃施設の利用について
2. 環境センター業務全般について
3. 農畜産業資材飼料高騰対策について
4. 城里町の震度計について

桜 井 和 子 議員 9

1. ごみの分別について
2. 自己搬入となっている粗大ごみの回収について
3. AEDの設置について
4. 大人の健康遊具設置について



☐次ページからの、顔写真下のQRコードを
スマートフォンなどで読み込むと、一般質問
時の動画が視聴できます。



🌸「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の
寄稿によるものです。

一般質問

町政を問う



ふじさく ふみこ 議員
藤咲 芙美子

高校通学費補助について



こちらから
動画が視聴できます

《教育長》

高校1、2年生の短期間の
定期券購入を検討

藤咲 高校生の通

学費を町独自に支援しているが、助成の対象を1年間分の定期代だけにしているのは適切ではない。一年間分の定期代は高額であり、低所得者層には払える金額ではない。本日に助成を求めたい人に適用されない。

3年生と同じ短期定期代に対しての助成を、1、2年生にも適用を求める。

教育長 今後、1、2

年生の高校生徒に対して、短期間の定期券購入が可能となるよう検討していく。

藤咲 誰でも、ど

のような条件でも助成が受けられるようにすべきだ。

1、2年生にも短期間の定期券購入を検討することだが、3年生と同じような短期の定期代に対して補助が受けら

れるということか。

教育長 ここでは即

答できない。検討課題とし、十分協議していく。



がん検診の負担軽減について

《健康保険課長》今年度、値上げした

藤咲 町が行って

いる胃がん、大腸がん、前立腺がん、子宮頸がん、乳がん、肺がんの検診は命に直結する大事な検査。早期発見、早期治療を公平に、誰でも負担なく検診が受けられるよう、がん検診の減免または無料を求める。

健康保険課長 委託

先の健診協会では、乳がん、胃がん、子宮がん検診料を値上げした。町では今年度若干値上げをした。近隣市町村も町と同程度程度の自己負担額となっている。藤咲 がん検診を減免することで検査率を高め、健康で元気に暮らすことができれば、医療費削減につながる。

就学援助の拡充について

《教育長》検討していきたい

藤咲 就学援助制

度の対象は、要保護・準要保護児童であり、小中学校の学用品や入学準備金、通学費、給食費、PTA費など、全額または一部支給される。

当町の支給状況は、就学援助の支給項目と金額が国の基準を満たしていないため、要保護・準要保護世帯にとつては大きな負担になっている。

国の基準に合わせ、支援を厚くしてほしい。

教育長 学校教育法

第19条及び学校保健安全法第24条の規定に基づいて、城里町要保護・準要保護児童生徒就学援助費交付要綱を制定し、交付している。

今後は、他市町村の認定基準の動向を注視しながら、検討していきたい。



廃校・廃施設の利用について



かとう ぎ ただし 議員
加藤 直



こちらから
動画が視聴できます

《財務課長》利活用の検討をしていく

加藤木 廃校・廃施設にする段階で、再利用か解体かを議論しているのか。

財務課長 廃止時の取り扱いは、各所管課の判断としている。遊休資産の維持管理経費が課題であり、利活用や売却等を推進したい。

加藤木 廃施設の土地が借地だと、借地料の支払いも発生するが、借地の土地はあるのか。

財務課長 4カ所ある。

加藤木 行政財産は各所管課、普通財産は財務課と、管理を区別することなく、財務課が一括して管理し、財政健全化に努めてもらいたい。

財務課長 今後は総合管理計画策定委員会において、情報の共有を行い、遊休化する前に利活用の検討をしていく。

環境センター業務全般について

《町民課長》

ペットボトルの出し方の動画を配信

加藤木 町内のリサイクルボックス5か所の、マナーはどうか。また、リサイクルの啓発活動について伺う。

町民課長 資源ごみ以外のものが捨てられていた時があり、対応策を考える。またペットボトルの出し方や分別収集について町のホームページ等で動画配信している。

加藤木 教育現場でのリサイクル啓発について伺う。

教育課長 町内の小学4年生が環境センターを見学し、分別収集・リサイクルについて学んでいる。今後も環境教育を進めていく。



城里町の震度計について

《総務課長》

震度計に異常はない

加藤木 11月9日の地震は、震度計と地域住民の体感震度に乖離がある。地震の町と言わないような対策を伺う。

総務課長 気象台の調査で震度計に異常はないとの事。また震度計と地域住民体感との乖離については、今後地域住民に不安を抱かせない対応をしていく。

農畜産物資材飼料高騰対策について

《町長》

重点的な支援を検討

加藤木 コロナ禍、ウクライナ情勢の影響で資材飼料等が高騰しているが、近隣市町の政策はどのようなものか。

農政課長 (国、県近隣市町の支援内容を説明。)

加藤木 特に畜産業においては、配合、粗飼料の高騰により大変厳しいものがある。この窮地、行政の支援について伺う。

町長 当町の物価高騰対策は、農業、自営業、商工業区別せず1経営体5万円の支援を規模を問わず実施している。今後執行残等も生かし、重点的な支援が出来ないか検討する。

加藤木 農業は、昔から自分で値段を決める事が出来ない立場にある。ぜひ町長のご英断を賜りたい。



さくら い かす こ
桜井 和子 議員

ごみの分別について



こちらから
動画が視聴できます

《町民課長》正しい分別のチラシを同封する

桜井 可燃ごみとして出された発火の危険性がある電池が原因で、ごみ処理施設が火災になった自治体が増えている。

ごみとして出していけないという事を、周知するべきではないか。

町民課長 リチウム電池、モバイルバッテリー等によって、火災につながる危険性を、広報誌やホームページ、又、自治会に回覧等で周知していく。

桜井 それだけでは難しい。全世帯に周知できる対策はあるか。

町民課長 来年度のごみ分別表を全世帯に発送配付する際、町民に正しい分別の協力をお願いするチラシを同封する。

自己搬入となっている粗大ごみの回収について

《町民課長》令和6年度に回収を始める

桜井 町長選の公約の中に、家具や布団などの粗大ごみは、予約により自宅まで回収に伺う。又、庭木の枝をごみ袋に入らずに出す制度の改善に取り組みとあったが、これらの事は自宅まで回収に行く制度を導入すると受け止めてよいのか。

町民課長 令和6年度には、収集方法や料金等を決定し回収を始めていく。



AEDの設置について

《総務課長》コンビニ設置を検討

桜井 公共施設には設置されているAEDだが、夜間や休日には使用できない。できるだけ早く電気ショックを与えられることで、救命率もその後の社会復帰率も向上するといわれている。

町民課長 同時に今後検討していく。夜遅くまで営業している町内のコンビニに、助かる命を守るAEDを設置できないか。

大人の健康遊具設置について

《教育長》前向きに検討

桜井 町の公園に大人の健康遊具を設置できないか。

教育長 スダジイ広場では、遊具で遊ぶ子供の様子が見受けられる。

子供達を見守る大人がその時間を利用して、ストレッチや軽い運動ができれば健康づくりにつながると考える。前向きに検討していく。



総務課長 町の公共施設に19台、民間の事業所、社会福祉法人等を含め町内で40カ所を超える施設に設置している。今後救命率や、社会復帰率の向上について先行している自治体のコンビニ設置状況を研究し、前向きに検討していく。